

つきさっぷ町連だより

【月寒地区広報誌 第26号】

発行日：令和8年3月26日

発行元：月寒地区町内会連合会（町連）

豊平区月寒中央通7丁目8-19

月寒まちづくりセンター内

電話・ファクス 852-9288



春の息吹を感じながら 実り多き一年を振り返って

月寒地区町内会連合会会長 山田 良一

皆さま、こんにちは。月寒地区町内会連合会会長の山田 良一でございます。

月寒地区の皆さまには、日頃からまちづくり活動に多大なるご理解とご協力をいただいておりますこと、厚く御礼申し上げます。

街角の雪解けも一気に進み、柔らかな日差しに春の確かな訪れを感じる季節となりました。今年度も締めくくりの時を迎え、この春に卒業や進学、また新生活という大きな節目を迎えられる皆さま、そしてご家族の皆さまには、心よりお祝いを申し上げます。新しい門出が、希望に満ちたものとなるよう願っております。

振り返りますと、今年度も地域の絆を深める多彩なイベントが、皆さまの笑顔とともに盛大に開催されました。夏の活気あふれる「フェスタつきさっぷ」、そして芸術の秋を彩った「親子ふれあいコンサート」では、世代を超えて多くの方々が交流を深める、心温まるひとときとなりました。また、1月31日、2月1日の2日間には、冬の一大行事である「ホワイトジャンボフェスタ」が開催されました。地域の子どもたちが力を合わせて作り上げた雪像の数々は、どれも創意工夫に溢れ、見ているだけで心が弾むような素晴らしい力作ばかりでした。



子どもたちの豊かな感性と、それを支える地域の皆さまの温かな眼差しを肌で感じ、私自身も大きな感動をいただいた次第です。こうした活動は、月寒地区の皆さまはもちろんのこと、「とよひらまちづくりパートナー」の皆さまなど、世代を超えた多くの方々の力強い連携によって支えられています。準備から当日の運営まで、多大なるご尽力をいただいた関係各位に、この場を借りて深く敬意を表します。地域が一体となって

楽しむこのような行事が、皆さまの親睦を深め、特に子どもたちにとって「故郷・月寒」での忘れられない思い出となることを願ってやみません。

結びになりますが、来年度も皆さまのお力添えをいただきながら、月寒地区がより一層活気のある、住みよいまちとして発展していくことを祈念いたしまして、年度末の挨拶とさせていただきます。



地域の絆を深める門出 「令和8年 月寒地区新年交礼会」盛大に開催



山田会長による挨拶で新年の幕開け

1月8日(木)午後6時より、月寒公民館・体育室において「令和8年 月寒地区町内会連合会 新年交礼会」が開催されました。当日はご来賓や各町内会関係者、町連役員など総勢約180名が出席し、新年の幕開けを華やかに祝いました。式典は、主催者を代表して山田会長による力強い新年の挨拶で幕を開けました。続いて、ご来賓を代表して豊平区の石井区長より祝辞をいただき、つしま医療福祉グループの対馬代表による乾杯の音頭で祝宴がスタートしました。

会場は終始和やかな雰囲気に入れられ、余興では大正琴サークル「きらく会」による情緒あふれる演奏や、「マノアフラサークル」による優雅なフラダンスが披露されました。趣向を凝らした演出に会場は大いに盛り上がり、出席者の皆さんは親睦を深めながら楽しいひとときを過ごしました。

最後は三佐川副会長による結びの挨拶が行われ、地域の発展と皆さまの健勝を祈念して、盛会のうちに幕を閉じました。



新年に相応しい華やかなフラダンス

『第41回月寒地区子どもカルタ大会』

～子供たちが繰り広げる大人顔負けの熱い戦い～

1月18日(日)、月寒公民館の大研修室において、新春恒例の「第41回 月寒地区子どもカルタ大会」が開催されました。近隣の児童会館などから集まったのは、小学1年生から6年生までの精鋭全12チーム、計36名。会場は、試合開始前から子どもたちの心地よい緊張感と、それを見守る保護者・関係者の熱気に包まれました。読み手には、例年ご協力をいただいている「下の句歌留多協会」の皆様がボランティアとして参加。独特の節回しで札が読み上げられると、子どもたちは一瞬の静寂ののち、目にも止まらぬ速さで木札を弾き飛ばしていました。低学年の児童も最後まで粘り強く札を追い、高学年は大人顔負けのスピードを披露。対局を見守った関係者からは「年々レベルが向上しており、来年の大会が今から待ち遠しい」との声が上がっていました。子どもたちが熱戦を繰り広げる傍らで、応援に駆けつけた保護者の皆様や関係者の温かい声援も、大会を大いに盛り上げました。勝敗を超えて、地域の伝統文化に触れ、世代を超えて交流する貴重な一日となりました。



正々堂々とした熱い戦い

第26回ホワイトジャンボフェスタ 2026

～冬の一大イベントが今年も月寒を盛り上げる～

冬の恒例行事となりました「第26回ホワイトジャンボフェスタ2026」が、1月31日(土)、2月1日(日)の2日間にわたり開催されました。初日は、地域から全8チームが雪像づくりに参加。厳しい寒さの中、つきさっぷ中央公園会場で子どもから大人までが真っ白な雪に挑みました。互いに声を掛け合い、力を合わせて作り上げたのは計8体の力作。寒い中の作業でしたが、実行委員会から温かい



寒さに負けず頑張ります



栗の木太鼓で開幕

ココアが振る舞われ、参加者はホッと一息つきながら、冬の共同作業を楽しみました。2日目は体育室に会場を移し、勇壮な「栗の木太鼓」の演奏で華やかに幕を開けました。山田実行委員長による開会の挨拶に続き、来賓を代表して豊平区の石井区長より祝辞をいただき、会場は和やかな雰囲気になりました。その後、前日に制作した雪像の表彰式が行われ、各チームの努力が称えられました。表彰式後の交流会では、用意された温かい豚汁とご飯を囲み、地域の絆を再確認。さらに「ドリームアップルズ」による演奏や、豪華景品が当たる抽選会、趣向を凝らしたクイズ大会なども行われ、終始笑顔の絶えない一日となりました。



今年の作品はどれも力作



クイズに盛り上がる子どもたち

町内会スポットライト ～月寒東5条8丁目親和会～

備えを未来へつなぐ決断 —— 防災グッズを141世帯へ配布

月寒東5条8丁目親和会では、数年前の会員からの提案をきっかけに検討を重ねてきた「防災グッズの配布」を、2025年12月に実施しました。

■「今」だからこそできる還元を

活用したのは、長年「災害や周年行事」のために守られてきた約120万円の特別積立金です。役員会では、高齢化や世代交代が進む社会状況を鑑み、「町内会の経緯を知る者がいる今こそ、有効に活用し会員に還元すべき時だ」と判断。2025年2月の総会を経て、141世帯分を用意しました。

■地域の安心を支える一歩に

12月、班長さんの手を通して届けられた防災グッズ。会員からは「備えが十分ではなかったのが本当に助かる」「時機を得た素晴らしい取り組み」と、多くの喜びの声が寄せられています。

「将来への積み立て」を「今ある安心」へと形に変えた今回の試み。地域の絆と防災意識を改めて高める大切な機会となりました。



届けられた防災グッズ

各部の活動紹介

福祉厚生部より

福祉厚生部では、活動の一環として「共同募金」を行っております。例年10月初旬、地下鉄月寒中央駅周辺での街頭募金に加え、地域の各企業を訪問し募金への協力を呼びかけています。街頭では多くの方々が足を止め、温かいご支援を寄せてくださいます。また企業訪問においても、地域ごとに3つの班に分かれて各事務所を回っておりますが、どちらの企業様も大変温かく迎えてくださり、心より感謝申し上げます。



皆様のご協力に感謝

こうした活動は、月寒にお住まいの皆様の善意に触れられる貴重な機会です。今後とも、皆様の変わらぬご協力をお願い申し上げます。

保健衛生部より

保健衛生部では、今年度も地域の環境美化や衛生意識の向上を目指し、さまざまな活動に取り組んでまいりました。皆さまのご協力に感謝しつつ、主な活動内容をご報告いたします。

■ 春の美化活動：川も街も色鮮やかに

○月寒川河川清掃：周辺9町内会から約300名もの方々に参加していただきました。多くの手で清掃を行うことで、月寒川の清らかな環境を守ることができました。



月寒地区に彩りを与える花々

○「とよひら HANA-LAND」事業：国道36号や水源地通の周辺21町内会が協力し、植花活動を実施しました。沿道が美しい花々で彩られ、道行く人々の目を楽しませています。

○「豊平区ごみゼロの日」街頭啓発キャンペーン（5月30日）：清掃活動を伴う啓発を行い、地域の方々からも「街がとてもきれいになった」と温かな感謝のお言葉をいただきました。

■ 環境関連施設研修会：ごみ処理の最前線を視察

10月27日、豊平区クリーンさっぽろ衛生推進協議会が主催する研修会に参加し、駒岡清掃工場を視察しました。視察では、単にごみを焼却するだけでなく、その熱を利用して発電した電気を地域事業者に提供していることや、焼却後の副産物が有効に再利用されている現状を学ぶことができました。循環型社会の仕組みを肌で感じる、非常に有意義な研修となりました。



ごみ焼却の熱を利用した発電の状況

来年度も町内会の皆さまと協力して事業を推進してまいります。

さらに「住みよく、きれいな月寒」を次世代へ引き継いでいけるよう、より一層のご協力をお願い申し上げます。

編集後記

今冬の札幌は記録的な豪雪に見舞われました。特に1月25日は54cmもの降雪を記録し、21年ぶりに積雪が1mを超えるなど、自然の厳しさを痛感する冬となりました。そんな困難な状況下でも「ホワイトジャンボフェスタ」は無事に開催。銀世界で芽生えた子供たちの笑顔は、かけがえのない冬の思い出となったはずです。「子供たちの心に、月寒を故郷として刻んでほしい」という会長の言葉を胸に、私たち役員一同、来年度も地域を繋ぐ活動に尽力してまいります。

月寒地区の”いま”

(令和8年1月1日現在)

人口：38,394人

世帯数：22,398世帯

町内会数：74町内会